

各 位

長崎大学大学院工学研究科長
松田 浩（公印省略）

「創成プロジェクト」最終成果発表会の開催について

工学系技術者には、高い技術力とともに、自ら課題を見出して解決のためのアイデアを発想、具現化する能力が強く求められています。長崎大学工学部は、理論等の習得を目的とした座学中心の従来型の教育だけではなく、学生主体のものづくり実践を通して、学生のエンジニアリングデザイン能力や創造力の向上を目指す教育を実施し、これからの工学・工業界を牽引する人材の育成に取り組んでいます。

「創成プロジェクト」は、その取り組みの核となる科目であり、学生が学年や専攻を横断してチームを組み、地元企業や自治体等から提案されたテーマや自ら提案したテーマに関して、製品や技術の開発や地域社会・環境等に関する問題の解決に取り組み、その成果をコンテスト形式で競い合います。今年度も工学部学生および工学研究科学生がその取り組みに参加し、最終成果を発表する運びとなりました。

つきましては、ご関係の皆様のご協力・ご支援の下に実施された「創成プロジェクト」の成果を発表する公開報告会「創成プロジェクト」最終成果発表会を下記の要領で開催致しますので、皆様におかれましては大変ご多忙のことと存じますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日時：令和元年 11 月 9 日（土）13：00～16：10（受付 12：30～ 於：2 階多目的ホール）
2. 場所：長崎大学文教キャンパス総合教育研究棟（2 階多目的ホール・1 階ホール）
3. プログラム
 - (1) 開会式（於：2 階多目的ホール） 13：00～13：05
司 会：藤村 誠（工学研究科工学教育支援副センター長）
開会の辞：松田 浩（工学研究科長）
 - (2) 成果発表
 - 出展作品・プロジェクト成果の概要説明（於：2 階多目的ホール） 13：05～14：10
（発表時間 各 5 分）
 - ① 脳卒中片マヒの早期歩行のための長下肢装具の開発
 - ② スマートキャッシュトレイの開発 ～バーチャルもリアルもひとつのキャッシュトレイで OK～
 - ③ AR を使った教育コンテンツにおける Unity プログラムの開発
 - ④ 地球温暖化防止と芸術の融合 Green Art Cycle の実証試験
 - ⑤ 錠剤オープナーの開発
 - ⑥ 屋外スポーツ特に野球における選手の熱中症リスクの可視化
 - ⑦ マイクロ水力発電システム性能評価のための試験装置の開発
 - ⑧ 本明川洪水ハザードマップの一般住民への理解促進に向けた研究
 - ⑨ しぶとく強い大戦コマの開発
 - ⑩ 画像解析技術の拡大
 - ⑪ QR の読取りで最適な情報をわかり易く提供する交通案内サービス
 - ⑫ 医療機器を体験して、未来の医療機器をつくってみよう

（休憩 10 分） (14：10～14：20)
 - ポスターセッション（於：1 階ホール） 14：20～15：30
 - 写真撮影（於：1 階ホール 学生のみ） ※15:20 に投票締切
（休憩 10 分） (15：30～15：40)
 - 課題提供機関様およびアドバイザー教員からのコメント 15：40～16：00
（於：2 階多目的ホール）
 - (3) 閉会式（於：2 階多目的ホール） 16：00～16：10
講評・結果発表及び表彰：坂口 大作（工学研究科工学教育支援センター長）
閉会の辞：坂口 大作（工学研究科工学教育支援センター長）
■写真撮影（於：多目的ホール 創成プロジェクト関係者全員）